

事務事業名		「大船渡市の環境」の発刊事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	012 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間			
	施策名	015 地域環境の保全と共生		単年度のみ			
	基本事業名	012 良好な生活環境の保全		☒ 単年度繰返 (開始 S45 年度～)			
根拠法令		大船渡市環境基本条例		期間限定複数年度			
所属	部課名	生活福祉部市民環境課		【計画期間】			
	課長名	安田 由紀男		年度～年度			
	係名	環境衛生係	電話	27-3111	※全体計画欄の総投入量を記入		
	担当者	今野 宏紀	内線	125			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市域における環境の現況とその対策等について取りまとめ、環境白書的な冊子として発刊する。 (発行は隔年、データは毎年整理) 主な業務は、①データの収集(提供依頼)、②データとりまとめ、③原稿の作成、印刷、④製本(委託)、⑤他自治体、関係団体等への配布、⑥支払。 事業費は、製本委託料として支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
					財源内訳	都道府県支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						事業費計(A)	0
				人件費	正規職員従事人数		
					延べ業務時間		
					人件費計(B)	0	
					トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位	
平成28年度末に発刊を行うためのためのデータ整理(平成26、27年度分)		ア	発刊回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	発刊部数 冊
平成28年度末に発刊を行うためのためのデータ整理(平成26、27年度分)		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市域における環境の状況データ(大気、酸性雨、河川水質、海域水質、騒音、苦情)		名称 単位	
		カ	継続的に把握している環境データ種別 種類
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
白書としてまとめ、大船渡市の環境データを継続的に把握する。		名称 単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ	累計発刊回数 回
良好な生活環境を確保する。		シ	累計データ蓄積年数 年
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	単位						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	16	0	19	0	24
	事業費計(A)	千円	0	16	0	19	0	24
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	160	160	160	160	160	160
	人件費計(B)	千円	640	640	640	640	640	640
トータルコスト(A)+(B)		千円	640	656	640	659	640	664
⑤活動指標	ア	回	-	1	-	1	-	1
	イ	冊	-	150	-	150	-	150
	ウ							
⑥対象指標	カ	種類	-	6	-	6	-	6
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	回	-	25	-	26	-	27
	シ	年	-	48	-	50	-	52
	ス							

事務事業ID	0068	事務事業名	「大船渡市の環境」の発刊事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 市域における環境の状況を広く周知し、より深い認識を持ってもらうため、昭和45年12月に「大船渡市の公害」として第1号を発刊した。以後、毎年発刊した年もあったが、最近では隔年発刊としている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 様々な分野において、冊子の電子化が進んでいるものの、一部では冊子での情報の需要がある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特に寄せられていない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	市域の環境の状況を広く知ってもらい、身近に出来る環境改善行動を認識してもらうことにより、良好な生活環境の確保に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	当市の環境における状況をとりまとめる冊子を作成し、データを蓄積することは、大船渡市環境基本条例第21条により、当市が行わなければならない。	
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	対象と意図は、冊子を発刊する事業として、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	他都市等で発行している同様の冊子等を参考としながら、内容の充実にも努めるものであるが、発刊回数を増やすことは経費の増加につながることから、成果の向上は難しい。また、累計データは、経年の蓄積であるため増加はしない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	当市の環境関連データの蓄積について、一翼を担っている事業であることから、廃止・休止した場合の影響は大きい。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	類似内容の発刊物として統計書等があるが、統計書に当該冊子の内容を取り込んだ場合、掲載スペースの都合上少なからず圧縮が必要であり、掲載情報量の減少に繋がる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	ある程度までは、電子文書配布により対応できるが、電子文書が参照できない環境などを考慮すると、印刷部数を0にすることは不可能である。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	現状でも、平成16年版作成の際から製本のみ外注としたことで印刷製本費は削減できているが、担当職員の負担は増大している。	
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	行政主体で行っており、かつ受益者負担はない。事業による効果は、市域全体の環境保全に資するものであり、一部の受益者に偏るものではないことから公平性がある。	

事務事業ID	0068	事務事業名	「大船渡市の環境」の発刊事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 「大船渡市の環境」を隔年発刊としていることは、印刷コストの節約が図られ、掲載の容量も多くなく、適切であると考えます。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおりデータの収集・整理を行い、隔年発刊を継続する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民環境課長	安田 由紀男
-------	--------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(3) 評価結果の根拠と理由 電子データの公開によって製本分を最小限に抑えるなど、適切な事務執行が行われている。																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 継続したデータの蓄積と公表が、今後の環境施策の推進にとって重要であることから、今後も継続して実施していく。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
